



あけまして  
おめでと〜ございませす



昨年、前年の東日本大震災と福島原発事故で、新年を心から祝う気持ちになれませんでした。今年こそ、被災地の復興も進み、良い年になるよう願っております。

なな山では、恒例の多摩市第二小学校の「なな山で遊ぼう」の行事で過去最多の約140人強の子どもたちと保護者が訪れてくれました。また新たに南鶴牧小学校の子どもたちと保護者が自然観察に3月、5月、12月と3回訪れてくれました。子どもたちに里山の自然に親しんでもらう機会が増えていることは大変喜ばしいことです。

さらに、道路側の法面が新たな管理エリアとして加わりました。近隣住民のためにこれからしっかり管理していきたいと思えます。ともあれ一年を通じ怪我や事故もなく活動できたことが何よりと思っております。

さて、今年は2月から始まる多摩市主催の「多摩のめかづくり講座」の材料になな山のシノダケが使われることになりました。シノダケの群生地は稀少になっていますので大切に保護していきたいと思えます。

今年も一年を通し、怪我、事故のないよう楽しくすごしたいと思えます。そして、来年は当会発足から10周年を迎えます。これからも皆さんと共に里山の管理をしっかり積み重ねていきたいと思えます。

会員の皆様、また関係各位のご理解、ご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

2013年1月

なな山緑地の会 会長 高木直樹

## 日本建築士会連合会 「まちづくり賞」に参加して

東京建築士会から、平成21年から3年間助成金を受けたことがきっかけで、本大会にエントリーをしました。今年7月の一次審査で、全国で21団体の中から7団体に絞られ、本日の最終審査に臨みました。くじ引きでプレゼンの順番を決め、なな山緑地の会は4番目の発表となりました。当会からは、相田さん、鎌田さん、住崎が出席しました。

日本建築士会連合会主催のまちづくりですので、参加団体のテーマは「地域の祭りから、大学まで巻き込んだ古い町並み再生」、「湘南地域の大正・昭和初期別荘の邸宅保存活動」、「谷中の小さな住宅地で地域へのコミュニケーションを仕掛けたまちづくり活動」等々でした。

審査基準は以下の通りでした。

1. 取り組みを通じて、地域のまちづくりについてどのような展望とビジョンを持っているか。
2. 地域における、「生活の質」を高めることにつながっているか。
3. パブリック・デザイン（発信・認知度/プロセス/インシアチブ/創造性）。

4. 他の個人・組織や地域と連携し、プロジェクトを運営する上での知恵・工夫/建築士・士会の役割。

なな山緑地の活動だけは、環境保全としてのテーマで、全く別枠でした。持ち時間10分間のプレゼンを行い、結果は富山の高岡市で取り組んでいる団体が大賞を受賞しました。残念ながらなな山は下位でしたが、なな山の活動の問題点として、「地域をどのように巻き込み、人を育て里山保全を行うか」の課題が浮き彫りになりました。今後もなな山緑地で活動している皆さんと、地域の結びつきをつくっていきたく強く感じた一日でした。（住崎）



◆第55回建築士会全国大会「いばらき大会」に伴う、第7回まちづくり賞発表会&公開選考会

主催：(公益社団法人)日本建築士会連合会

開催日時：平成24年10月18日

開催場所：ホテルレイクビュー水戸 2階 トキワA・B

## 二小おやじの会主催、「なな山で遊ぼう 2012」が開催されました

多摩第二小学校 おやじの会 笠井 茂

2012年12月9日（日）、今年もなな山に多くの子どもたちとともに参加させていただきました。

昨年より10名以上多い約140名強の参加となり、なな山中には子どもたちの楽しい声が鳴り響いておりました。

昨年同様、山の中ではターザンロープ、ブランコ、そり遊び、木登りを行い、一番人気はやはりターザンロープで、中には先にある木を蹴ってしまうくらいの子もいるくらいでした。

続いてそり遊びでは、そりというよりも転がってくる子たちもいて、体中葉っぱだらけで笑い転げていました。

丸太切りや工作においてはクリスマスリースや笛など思い思いの物を作り、

多少の怪我もあったもののみな笑顔でした。

午後は時間が短かったため、終了の声をかけるのもかわいそうな気がしました。

出来れば、来年はもう少し時間を延ばしてもいいのではないかと思います。

また来年もよろしくお願い致します。



ターザンロープ



ハシゴ登り



ソリ遊び



遊びの説明を聞く子どもたち



ケーキの出来上がり カブトムシの幼虫採取



リース作り



落ち葉掃き

## 健康づくり推進員の一員として

出口 英隆

私は今、多摩市健康づくり推進員の一人です。多摩市を7地域に分けて活動しています。これは多摩市の「健康づくり推進員の設置要綱」に基づき、「市民の自発的な健康づくり活動の推進及び市の実施する健康施策の円滑かつ効果的な推進を図ること」を目的に設けられています。現在、多摩市全体で62名（定員は85名）の推進員が活動をしています。ちなみに、私は和田・愛宕・東寺方・落川・百草地区に属しています。毎年、この時期になりますと広報などで推進員の募集を行っており、また我々がどのような活動を行っているかなどのPR活動（健活）も進めています。推進員活動への理解と同時にこれらの活動により、多くの市民の参加（仲間づくり）を図っているところです。

さて、この推進員の活動とは具体的には何をしているのかをご案内します。

**I 各地区の活動：**①地区主催のウォーキング・ハイキング（近隣の山・周辺地域探索、七福神めぐりなど）、②健康施策（ヨガ、うたごえ広場など）、③男の料理（年8回程度、メニューは手軽に作れるもの）、④地域のお祭りへの参加（骨密度測定など）。これらは年間35回にも及んでいます（別途一覧表あり）。

**II 月例ウォーキング：**月3回（初心者向け2時間弱のウォーキング）。

**III 健康セミナー：**市民への健康情報提供セミナーの企画・実施（年1回、2月開催）。

**IV 多摩川さわやかウォーキング：**毎年11/23、（多摩川上流に向かい最高20<sup>キロ</sup>の4コース）

上記に見るようにその活動範囲は広く、健康推進のための運動、食事、健康講座、また地域への参加などを行い、健康づくりの企画・実施に努めています。参加された方々と一緒になって健康づくり、地域の絆づくりに頑張っています。参加者も毎年増加しており、それは健康づくりに少しは役に立っているのではないかと考えています。参加して良かった、楽しかった、少しずつ健康になったなどの声は我々推進員への大いなる励みになります。健康づくりはまた楽しい仲間づくりにもなります。どうぞお気軽にご参加下さい。お待ちしております。次のエッセイは、新たに会員になられた大井さん



平山城址公園探訪

## 多摩ネットの皆さん なな山緑地散策



11月18日、秋晴れのなか多摩ネットの皆さん他、総勢20名程が「多摩の再発見」で、なな山緑地へ散策に來られました。中原さん作の「なな山の植物」を配布したところ、この写真は図鑑から抜粋？よく撮れていると驚いていました。散策する前に緑地保全に至る経緯を話しました。雑木林を次世代に残すには、どうすれば雑木林がこの姿のまま残せるのか、当時の都議會議員新井美佐子さんの協力を得て、保存する仕組みを模索しましたが、緑地保全する法整備は何もない状況でした。最終的に行政に寄付することのみが答えでした。

なな山緑地の会は、近隣自治会の皆さんが、先頭に立って活動をしています。寄付後11年経った雑木林は、住崎の父親が手入れをした景色と何一つ変わっていません。人間と自然界の持ちつ持たれつの環境が、なな山緑地にはあります。散策の中、毎年手入れしてきた山と手入れを怠ってきた山の違いを実感し、雑木林の自然を満喫して頂きました。また、多摩ネットの環境部会から団体会員の申し込みを頂きました。本日は多くの方に参加を頂き、有難うございました。（住崎）



## 南鶴牧小学校、秋の自然観察会

12月1日、子どもと保護者の秋の自然観察会が行われた。10時過ぎに多摩センターからのバスで到着。児童6人保護者4人を福田副校長先生が引率してきた。子どものうち一人だけ前にも来たことがあると言っていたが、他は初めてとの事。迎えるのは高木会長と3人の会員。自己紹介と会長の緑地の説明の後、福田先生の観察指導で行動に移る。いろいろに紅葉を始めた雑木林の観察、クヌギ、コナラのドングリの違いや実の付き方。畑の綿の実、お茶の木の花と実を観察。クヌギの苗に大量のアブラムシを発見。西の山を歩きながらトキリマメとノササゲの実に関心。トネアザミにも注目。紫色の実をつけたムラサキシキブ、ヤブムラサキの違いやスギとヒノキの見分けも知る。紅葉した落葉広葉樹の西の山と常緑樹の中の山、シノダケに覆われた東の山の違いを体験。西の山に用意されたターザンロープとブランコに興味を示したのは女の子たち。ターザンロープが面白かったと何度となく楽しむ。男の子はシノダケを振り回し、前もって用意したウグイス笛作りに挑戦。お昼のお弁当に天候が急変。あられ混じりの雨にたたられる。子どもたちには貴重な体験だったかもしれない。次は2月に冬の観察会が予定されている。（相田）



# なな山日記 (活動・観察記録)

# とたに えま

<p><b>No.196</b> 2012年8月12日(日) 曇りのち晴れ 気温31℃ 参加者16人</p> <p>暑い、暑い一日。木陰で休みながらも熱心な活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業/サトイモの水やり、草取り。法面、広場の草刈り。道路沿いの草取りとゴミ集め。</li> <li>●観察/ヤマホトトギス、ヘクソカズラ、ヤブミョウガの花が咲いた。ホオズキの実が赤くなっていた。</li> </ul> 	<p><b>No.197</b> 2012年8月26日(日) 晴れ 気温34℃ 参加者15人</p> <p>チッパー試運転。今日も暑い一日、昼にスイカのご褒美。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業/サトイモの水やり、草取り。法面草刈り。</li> <li>●観察/クサギ、ヌスビトハギの花が咲いた。ゴンズイの実が赤くなりはじめた。シオカラトンボを見つけた。</li> </ul> 
<p><b>No.198</b> 2012年9月9日(日) 晴れ 気温32℃ 参加者13人</p> <p>チッパーでチップを作り、散策道の坂にまく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業/畑に耕耘機をかける。ダイコンの畝立て。チッパーでチップを作り、散策路の坂にまく。枯木の伐倒。</li> <li>●観察/ヤブラン、ミズヒキの花が咲いた。ホオノキの実を観察。セミが服に取り付いていた。</li> </ul>  	<p><b>No.199</b> 2012年9月30日(日) 晴れ 気温27℃ 参加者9人</p> <p>23日の活動日は雨のため延期となり、本日に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業/ダイコンの種まき、寒冷紗かけ。道路沿いの掃除と枝払い。広場草刈り。</li> <li>●観察/キバナアキギリ、ショウキズイセン、ヒガンバナが咲いた。ノウダケなどのキノコが生えていたツクツクボウシが鳴いていた。</li> </ul>  
<p><b>No.200</b> 2012年10月14日(日) 曇り 気温16℃ 参加者14人</p> <p>「なな山だより26号」「なな山の植物-2」の発刊、配布。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業/ダイコンの間引き、カボチャ収穫。刈払機の整備、ドングリの苗作り。</li> <li>●観察/シラヤマギク、オケラ、コウヤボウキの花が咲いた。ホウロウタケ、タマゴダケベニテングダケ、シロテングダケなどが生えていた。ワタの実がついていた。</li> </ul>  	<p><b>No.201</b> 2012年10月28日(日) 曇りのち雨 気温不詳 参加者13人</p> <p>日本建築士会連合会主催の「まちづくり賞」を受賞。雨が強くなったため、活動は1時間で中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業/枯木の伐倒準備。中の谷の草刈り。</li> <li>●観察/オオスズメノカタビラ、コブナグサの花が咲いた。</li> </ul> 
<p><b>No.202</b> 2012年11月11日(日) 曇りのち雨 気温15℃ 参加者17人</p> <p>サツマイモ大豊作、昼は今期初の豚汁パーティー。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業/サツマイモ掘り。シイタケ、ナメコ収穫。道路沿いの柵修理、西の山にシガラ作り。</li> <li>●観察/ヤツデ、アメリカセンダングサが咲いた。トウネズミモチ、トキリマメ、カキの実が色づいた。</li> </ul>  	<p><b>No.203</b> 2012年11月25日(日) 晴れ 気温15℃ 参加者21人</p> <p>ナメコ大発生のため、昼は焼き芋と急遽ナメコ汁も追加。道沿いの柵修理が終わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業/ダイコンの土寄せ、道路沿いの柵修理。西の山の下草刈り。中の谷の剪定枝・刈草の整理。おやじの会の準備。</li> <li>●観察/リンドウ、ツワブキが咲いた。センリョウの実が赤く色づいた。</li> </ul>  

## お知らせ

当会会員の岡本昌児さんが、12月18日ご逝去されました。12月9日の活動日にはお元気で参加されておられただけに、突然の訃報が直には信じられない心地です。岡本さんは、当会発足時からのメンバーで常に先頭に立って活動され、私たちの模範となる存在でした。先輩としてまだまだこれからもご活躍いただきただけに本当に残念でなりません。心からご冥福をお祈りいたします。

## なな山だより 第27号 2013年1月13日発行

発行 　　なな山緑地の会  
発行責任者 　高木直樹  
住所 　　多摩市和田 1394-13  
ホームページ <http://www.geocities.jp/nanayamaryokuchi/>  
編集委員 　鎌田文雄 中原君代 戸谷恵麻